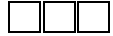


2

財務・会計

平成 30 年度 問題 2



20X1 年 1 月 1 日に購入した建物（取得原価 800,000 千円、耐用年数 20 年、残存価額ゼロ）を 20X2 年 6 月 30 日に 725,000 千円で売却した。ただし、決算日は 12 月 31 日（年 1 回）であり、定額法により減価償却している。売却にあたり計上される固定資産売却損益の金額として、最も適切なものはどれか。

- ア 固定資産売却益： 5,000 千円
- イ 固定資産売却損： 15,000 千円
- ウ 固定資産売却損： 35,000 千円
- エ 固定資産売却損： 75,000 千円

2	財務・会計	固定資産の売却	イ
---	-------	---------	---

【解 答】

イ

【解 説】

固定資産の売却に関する問題である。

1. 固定資産における売却損益の計算

固定資産を売却したときは、売却時点の帳簿価額と売却価額を比べて、売却損益を求め、固定資産売却益または固定資産売却損を計上する。

$$\text{売却価額} - (\text{取得原価} - \text{減価償却累計額}) = \text{売却損益}$$

2. 固定資産の売却時における仕訳

売却時の仕訳を示すと以下のとおりである（単位：千円）。なお、本問では下記の点を考慮する必要がある。

第1点目：20X1年1月1日から20X2年6月30日までの間に決算日（12月31日）をまたいでいるため、1年分の減価償却費が計上されている。

第2点目：期中（20X2年6月30日）に固定資産を売却した場合には、期首から売却月までの6ヶ月の利用分だけ、減価償却費を計算して計上する点に留意する。

20X1年12月31日（前期末決算日）

（借方）	減価償却費	40,000	（貸方）	減価償却累計額	40,000
------	-------	--------	------	---------	--------

$$800,000 \div 20 \text{ 年} = 40,000 \text{ 千円}$$

20X2年期首から売却月（6月）までの減価償却費の計上

（借方）	減価償却費	20,000	（貸方）	減価償却累計額	20,000
------	-------	--------	------	---------	--------

$$800,000 \div 20 \text{ 年} \times \frac{6 \text{ 月}}{12 \text{ 月}} = 20,000 \text{ 千円}$$

20X2年6月の売却仕訳

（借方）	減価償却累計額	60,000	（貸方）	建 物	800,000
（借方）	現金預金	725,000			
（借方）	固定資産売却損	15,000			

よって、イが正解である。